整理No. 2018-32		労働災害状況調査表							
発生会社	:事業所								
災害発生日	3時	2017年10	0月11日(水)	14時10分	天候(晴れ)	温度(℃)湿度(%)	
災害区分		不	休災害	t	木業災害(休業	: 目)			
被	部門	技術部門			雇用形態(正	社員)、	派遣、契約、	その他	(パート)
災	年齢	19歳	性別: 男	女	勤続年数	6ヶ月	経験年数		6ヶ月
者	傷病名 傷病部位	右眼負傷 右眼							
災	に粉砕機を 部の残存へ 眼の隙間に	シエアブロー ペレットが飛 こペレットが	【作にて粉砕」 一洗浄した際は ☆散した際に、 ふり右眼を負 感を感じた程	こ、粉砕機内 保護眼鏡と !傷した。	状況概略(写真		(h)	n sacra	
害			受け、目の洗						
発									
生					ペレット残	<u>存箇所</u>			
r r-									
状									
沢況							隙間に	こペレッ	小が混入
-	災害の型	% 1)	7. 目に入る	·	作業の形態:5	定常) 非;			ルトが混入)
-	77072	⁽¹¹⁾)体塗料ペル	,	,)	作業の形態:5 特記事項	定常 非			小が混入)
-	起因物:粉)体塗料ペル	/ット				定常、その他	()
-	起因物:粉)体塗料ペル	/ット		特記事項		定常、その他	()
況	起因物:粉	ì体塗料ペレ 団(man):保語	/ット 護眼鏡を着用	していたが、	特記事項	トが入ると	定常、その他	(見定して)
況	起因物:粉	ì体塗料ペレ 団(man):保語	/ット 護眼鏡を着用 achine) : 保護	していたが、	特記事項隙間からペレッ	トが入ると	定常、その他 いうリスクを想 なならなかった	(見定して)
況 原 因	起因物:粉	↑体塗料ペ↓ 団(man):保語	/ット 護眼鏡を着用 achine) : 保護	していたが、	特記事項隙間からペレッ	トが入ると	定常、その他 いうリスクを想 はならなかった	(見定して)
况 原因分	起因物: 粉 1.人的要因 2.物に関す	↑体塗料ペ↓ 団(man):保語	/ット 護眼鏡を着用 achine) : 保護	していたが、	特記事項 隙間からペレッ していたが、負傷	トが入ると	定常、その他 いうリスクを想 はならなかった	(見定して)
况 原因分	起因物: 彩 1. 人的要因 2. 物に関す 3. 環境要因	体塗料ペル J(man):保詞 Tる要因(ma	/ット 護眼鏡を着用 achine): 保護	していたが、	特記事項 隙間からペレッ していたが、負傷	トが入ると	定常、その他 いうリスクを想 はならなかった	(見定して)
	起因物: 数 1.人的要因 2.物に関す 3.環境要因 4.管理的勇	体塗料ペレ 図(man):保語 トる要因(ma 図(media): 要因(manag	/ット 護眼鏡を着用 achine):保護 ement):手順	していたが、 眼鏡を着用し	特記事項 隙間からペレッ していたが、負傷	トが入ると 。	定常、その他 というリスクを想 はならなかった	(思定して さ。	くいなかっ
况 原因分	起因物: 彩 1.人的要因 2.物に関す 3.環境要因 4.管理的勇 ・眼鏡型が 遮断する。	 (man):保 お要因(manag に に に に に に に に に に	/ット 護眼鏡を着用 achine): 保護 ement): 手順	していたが、 眼鏡を着用し 書の作成がて レ型の安全眼	特記事項 隙間からペレッ していたが、負傷 ごきていなかった	トが入ると	定常、その他 いうリスクを想 はならなかった	(想定して こ。 混 入す	くいなかっ
	起因物: 彩 1.人的要因 2.物に関す 3.環境要因 4.管理的要 ・眼鏡型か 遮断する。	体塗料ペレス	/ット 護眼鏡を着用 achine): 保護 ement): 手順 かないゴーグル	していたが、 眼鏡を着用し 書の作成がで レ型の安全眼 に変更する。	特記事項 隙間からペレッ していたが、負傷 できていなかった	トが入ると	定常、その他 いうリスクを想 はならなかった 飛散した際に アブロー洗浄	(想定して こ。 混入す	ことがなかってる経路を